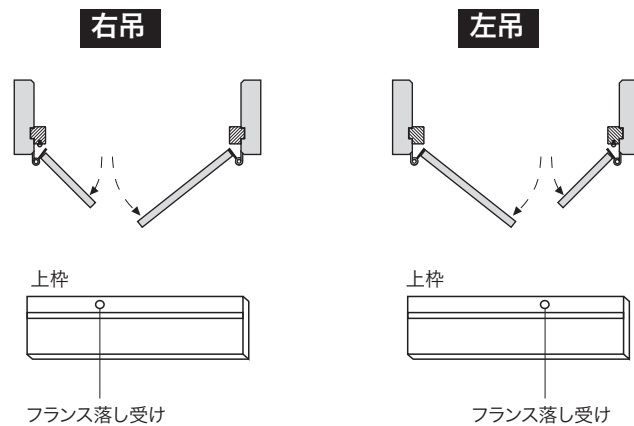
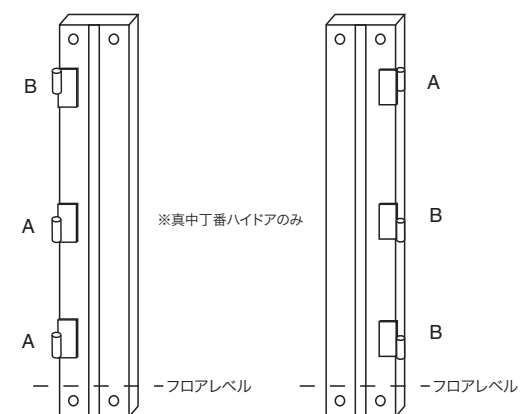


1. 枠の組立て・取付け

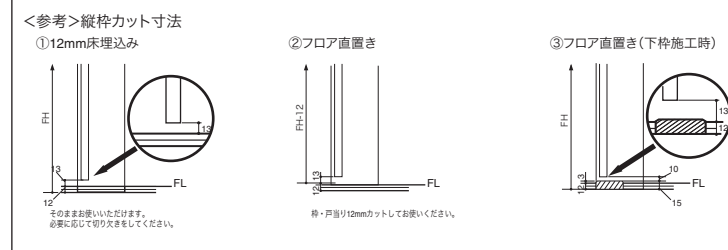
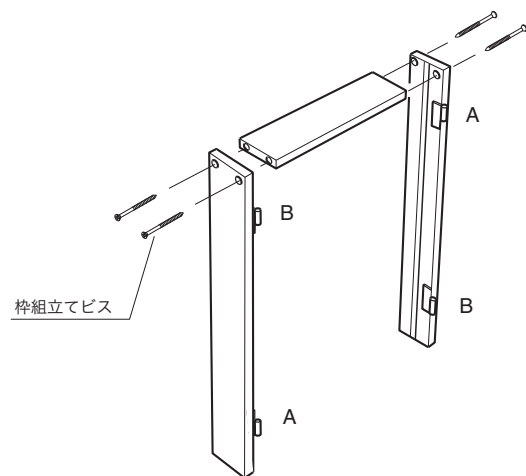
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。



②必要に応じて下端カットしてください。



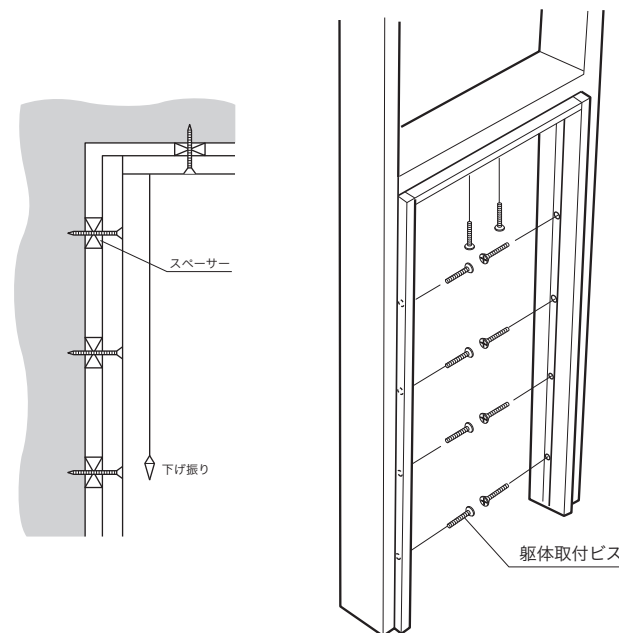
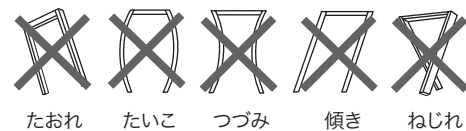
③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。



2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスを使って、枠を取付けてください。
- ③フランス落としの下用受けつぼを、上枠の加工位置を確認しビスで固定してください。

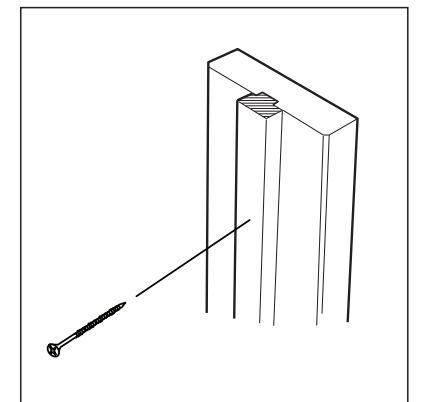
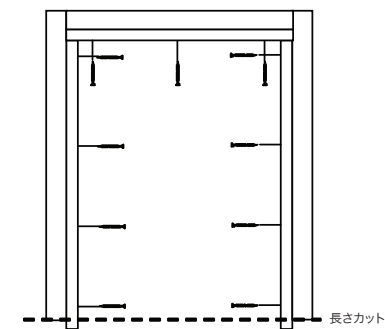
※下げ振りなどで建付けを確認しながら取付けてください。
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 戸当りの取付け

- ①枠の溝に接着剤を入れ、戸当り用ビスで固定します。
- ②初めに、上戸当りを取付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。

<ビス取り付け位置>



5. 扉の吊込み

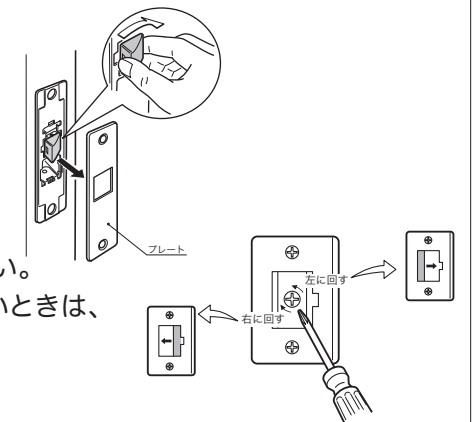
- 丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- 扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。

注意

- ①一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- ②扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

6. 建付け調整

- ラッチの向き 左吊の場合にはプレートをはずして、ラッチの向きを反対にしてください。
(標準は右吊用になっています。)



- 丁番 レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。
- ストライク ラッチがストライクの中でガタついたり、ストライクにかからないときは、ストライクの調整を行ってください。±2.5mmの調整が可能です。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。